

2013年度上半期

# JICA研修コースの実績紹介

コース名 : 「産業廃水処理技術A」

北九州国際技術協会  
研修部

2013年10月20日

# 1. 研修コースの内容

1)コースリーダー 川崎淳司

2)コース名 和文:「産業廃水処理技術A」  
英文: Industrial Wastewater Treatment Technique

3)類型 課題解決促進型

4)研修受け入期間 2013/6/16 ~2013/9/7

5)参加研修員 7ヶ国 8名

## 【参加研修員の国名と位置】

参加研修員 7ヶ国 8名



## 2. 研修コースの目的と目標

### ① 背景



開発途上国における産業の発達の伴い、産業廃水や生活排水による水質汚濁による生活環境や自然環境悪化の抑制が不可欠となっている。途上国の工場廃水管理に携わる技術者・行政官に我が国の防止例や技術を提供し生活改善の一助とする。

### ② 目的



産業廃水を管理する行政官や技術者が、北九州地域の経験に基づいて、研究機関及び企業が果たす役割を理解していただき、各国の実情に適した産業廃水対策を立案できるよう指導する。

### ③ 目標

#### 【上位目標】

本案件を通して提案される産業廃水処理対策が実施できる。

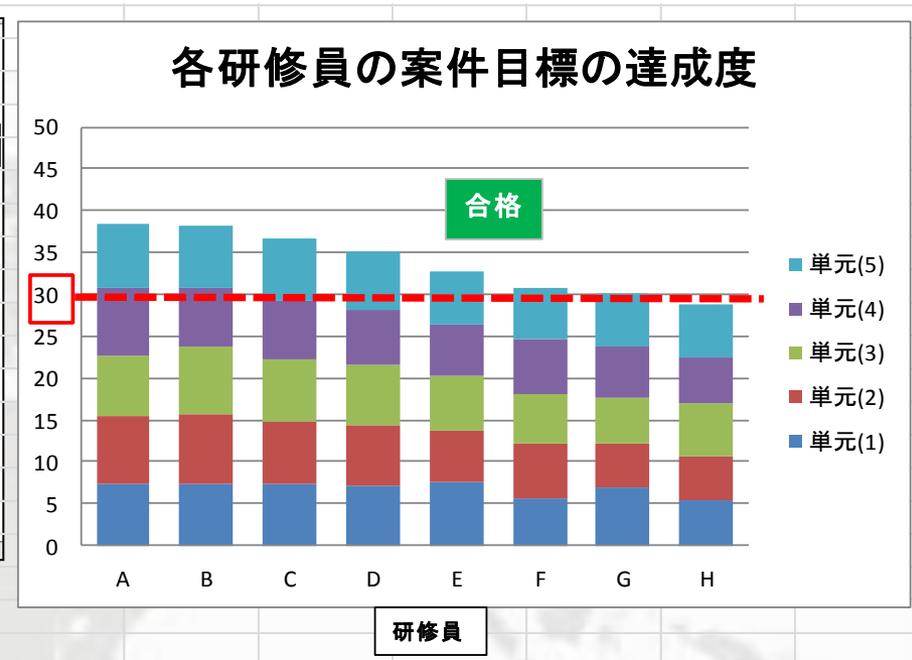
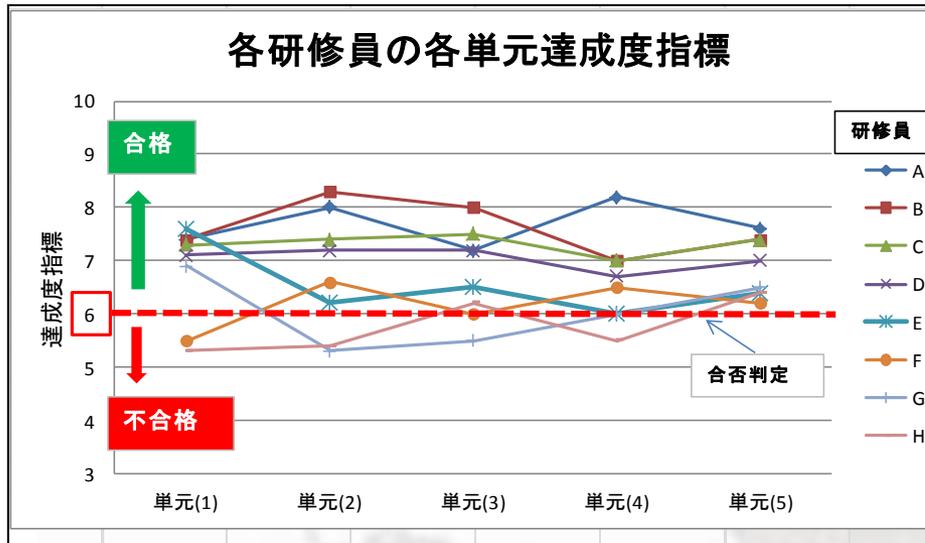
#### 【案件目標】

講義・実技演習・工場見学を通じて各単元目標項目を習得し、自国に適した産業廃水処理方法の提案・改善が実施できる。

#### 【単元目標】

- 単元1: 水質汚染防止における基本的な行政政策／施策について自国の課題が整理できる。
- 単元2: 排水処理の基本理論と処理装置の機能について自職場の課題が整理できる。
- 単元3: 排水処理試験法・処理方式の選定法など、処理設備の基本計画技術が整理できる。
- 単元4: 排水処理設備の安定操業を図るための操業・保全に関する現場管理技術の課題が整理できる。
- 単元5: 研修員が習得した技術・知識を活用し所属先の課題について対応策が立案できる。

# 3. 達成度(評価)



- 1) 単元目標の達成指標 : 10点満点で評価し平均点が6点以上を達成者とした。
- 2) 案件目標の達成指標 : 5単元×10点で評価しその合計が30点以上を案件の達成者とした。
- 3) 達成指標の点数根拠 : ①IAS (Issue Analysis Sheet) の評価  
 ②研修により得た知見度  
 ③アクションプランの評価  
 ④その他

## 4. 研修を高める工夫

### 1) 研修フォローアップ

- ・研修期間中に3時間×4回の時間を設定し、研修フォローアップとしてCLによる研修科目の振り返りを行い、疑問点や理解の不十分な点の補議を実施した。

### 2) IASワークショップの実施

- ・研修員の課題解決は先進的な日本での研修のみでなく、参加国同士の情報交換も重要な要素となる。この情報交換の場及び各自の課題明確化等のためコース解説当初にIASワークショップを実施し、研修に臨む姿勢、アクションプラン作成までのステップを認識させた。

IAS: Issue Analysis Sheet

# 6. 研修アルバム

